

市議会議員

おりはら よしあき

織原義明 市政レポート

Vol.30

2010. 10

〒326-0815 栃木県足利市栄町1-3367
TEL : 0284-21-8000
FAX : 0284-21-0201
E-mail : orihara@mail2.watarase.ne.jp
http://www.watarase.ne.jp/orihara/

市政レポートは、市議会定例会の翌月（1, 4, 7, 10月）に発行しています。

市長派と反市長派

最近では議会における市長派・反市長派といった言葉をよく耳にします。名古屋市や鹿児島県阿久根市がそのいい例です。しかし、私はこうした色分けには疑問を抱いています。市長も人の子ですから、市にとってマイナスになるような議案や、民意にそぐわない議案を議会に提出することもあり得ます。阿久根市では法律を無視した議案すら提出されています。

私も含め議員はしばしば「是々非々で臨む」といいます。しかし、議員が市長や行政当局に対して是々非々で臨むのは当たり前のはずです。そして、議案ごとに良し悪しを判断して、賛否を決めるのが本来の議員の姿だと思っています。しかし、市民に目を向けるのではなく、市長のほうを向いて賛成・反対をしている姿こそ、この市長派・反市長派といった色分けだと思うのです。市長派といわれる議員なかには、市長が言うことなら何でも賛成する方がいます。まさに思考停止状態です。単に賛成するだけなら誰にでもできます。高い給料を払う必要はありません。

さて、本市の9月議会では「市民薬局条例」に関わる議案が提出されました。市民薬局というところのような薬局を想像されるでしょうか。市民会館、市民病院などから連想すれば、市営の薬局でしょうか。この議案が公表されてから急遽、足利市の薬剤師会からも名称変更の要望書が議会に提出されました。本議会ではそうした誤解を招く恐れのある議案に対して、「薬局施設条例」という名称変更の議員提案により、本条例案を修正し可決しました。今回、市長派・反市長派といった色分けに関係なく、全会一致で修正案を可決できたことは、本当に良かったことです。



織原 義明（おりはら よしあき） 略歴

- 1965年 足利市生まれ/西小学校、第一中学校、足利高等学校を経て
- 1989年 山形大学理学部地球科学科卒業
- 1990年 一般企業に入社 塾講師、制作、企画営業を経験
- 1996年 科技厅（現文科省）主導による地震予知研究プロジェクトに参加
理化学研究所研究員
- 2003年 足利市議会議員に初当選
- 2007年 足利市議会議員に二期目の当選、現在、教育経済常任委員会委員

9月定例会一般質問より

◆ 地域コミュニティについて

<質問内容>

本市を町内単位で見たとき、65歳以上が50%以上を占めるいわゆる限界集落に相当する町内、またはそれに準ずる町内はあるのか。

<市側答弁>

昌平町と井草町が50%以上になる。また、40%以上の町内は旧市内を中心に8町内ある。

コメント)

高齢化は旧市内で進んでいるが、土地区画整理事業も休止し、市の具体的な対策は何もない。事業を休止するなら対案も出して欲しい。

◆ 旧西小学校跡地活用について

<質問内容>

8月30日に地元代表者を対象とした説明会が行われたようであるが、今後のスケジュールと予算確保の見通しを伺いたい。

<市側答弁>

来年度からはじまる後期の第6次足利市総合計画のなかで実現していきたい。予算は市単独となるため厳しいところはあるが、しっかりと確保していきたい。

◆ 子宮頸がん予防ワクチン接種について

<質問内容>

保護者・児童に配られた製薬会社制作のパンフレットには、子宮頸がんによる死亡人数などの出典が明記されておらず、数が水増しされている可能性もある。このようなパンフレットを保護者・児童に配ったのは問題があるのではないか。この点も含め、今回の事業に関しては、教育委員会として再度議論して欲しい。

<市側答弁>

今回のワクチン接種事業は急な話だったため、確かに慎重さに欠けていた。いろいろ指摘された点をはじめ、再度検討したい。

コメント)

このワクチン接種の公費助成は「政治家のパフォーマンス利用」といわれることもある。確かに芸能人がマスコミに登場し、夏の参院選でも話題となった。ワクチン公費助成については、国から公費助成が認められていない他のワクチンも含め、科学的な根拠により助成のあり方を考えるべきである。

* 先進地視察：我孫子市・市川市 *

今回は、会派市民クラブ所属の藤生智弘議員、中島由美子議員と、会派に所属しない渋谷克博副議長、常見登議員とともに、千葉県2市を視察してきました。

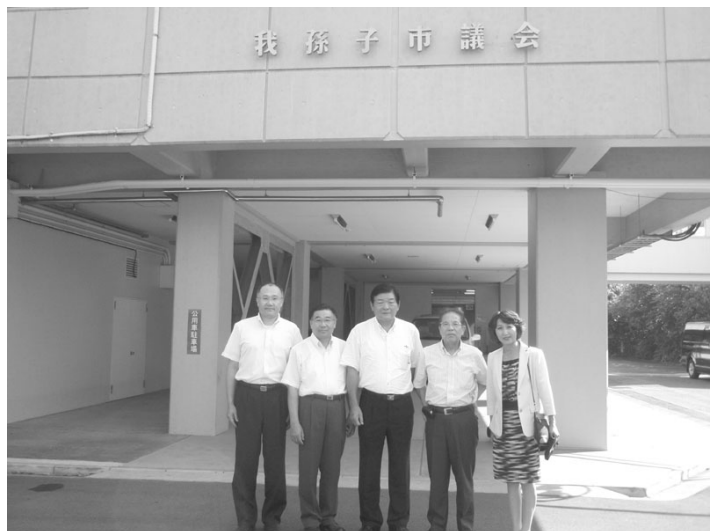
7/21 我孫子市「提案型公共サービス民営化制度について」

7/22 市川市「いちかわインターネット放送局について」

「防災公園について」

提案型公共サービス民営化制度は、平成18年からスタートしました。背景には行政職員を削減する一方で福祉などのサービスは増加傾向にあり、その担い手を他に探す必要性があったことや、団塊世代の大量退職によるシニア世代の能力活用などがあげられます。この制度の特長のひとつは、市役所の全ての事務事業が対象となり、人件費のコストも含めてすべて公開している点です。本市の事業仕分けは、仕分けにかける事業を事前に仕分けしています。我孫子市のように市の全ての事業を民間目線で見てもらい、よりよいサービスを提案してもらうほうが、効果があるのではないかと思います。

市川市では、平成14年から市議会本会議の生中継と録画中継を行っています。また、現在は市の紹介だけでなく、各種行政サービスに関わる動画も配信しています。このように他市に先駆けて取り組むことができた理由は、国の補助事業をうまく利用したことにあります。こうした点は見習いたいところです。



我孫子市議会棟の前で

★ 第14回オープンミーティング ★

※) 開催日等は、ホームページにてご案内させていただいております。

今回のオープンミーティングのテーマは「旧西小学校跡地の活用案」ということもあり、織姫公民館にて9月6日に開催しました。参加した市民の方からは「本当に予算は大丈夫なのか」「複合施設といっても詰め込み過ぎではないか」「利用者のことを考えれば、大型バスの駐車場は南側につくるべきではないか」「学習室をつくるなら図書館機能も必要ではないか」などの意見が出されました。こうした意見は議会質問に反映させていただきました。

基本的に行政の活用案を受け入れる意見が多かったものの、具体的な跡地利用に慎重な意見もあったことは、市行政にも承知して欲しいところです。

織原義明のおもな活動(2010年7~9月)

- 7月4日 平成22年度足利市水防演習並びに夏期点検
- 7月5日 第一中学校学校公開
- 7月9日 栃木県市議会議長会議員及び事務職員研修会(日光市)
- 7月12日 第25回両毛六市若手議員懇談会定期総会及び研修会(佐野市)
- 7月14,16日 自治体総合フェア2010(東京)
- 7月20日 全員協議会、市議会臨時会
- 7月21,22日 先進地視察(我孫子市・市川市)
- 7月23日 足利市環境審議会
- 7月27日 議会基本条例に関する研修会先進地視察(取手市)
- 8月2日 ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟第6回総会・研修会(東京)
- 8月3日 平成22年度足利市民の消費生活をまもる委員会
- 8月20日 全員協議会、ごみ減量化に関する調査研究会、教育経済常任委員協議会
- 8月24日 全員協議会
- 8月25日 足利市行政改革推進委員会
- 8月31日 全員協議会
- 9月1日 市議会9月定例会本会議
- 9月3日 全国災害ボランティア議員連盟研修会(東京)
- 9月6日 第14回オープンミーティング(織姫会館)
- 9月8日 市議会9月定例会本会議
- 9月9日 市議会9月定例会本会議
- 9月10日 市議会9月定例会本会議にて一般質問
- 9月13日 総務企画常任委員会(傍聴)
- 9月15日 決算審査特別委員会(一般会計)
- 9月16日 決算審査特別委員会(一般会計及び特別会計)
- 9月21日 市議会9月定例会本会議
- 9月25日 けやき小学校運動会

※ホームページでは、毎週の活動報告等を随時更新しています。

<http://www.watarase.ne.jp/orihara/>

<政務調査費の公開>

足利市では市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として議員個人に対し、政務調査費を交付しています。今年度(平成22年度)の政務調査費は、本市の厳しい財政事情から12万円減の年間72万円となりました。

4~9月分合計(暫定)

収入 360,000円 - 支出 304,480円 = 55,520円

<支出内訳>

研究研修費：¥29,730	調査旅費：¥34,931	資料作成費：¥0
資料購入費：¥31,530	広報広聴費：¥176,060	人件費：¥0
事務費：¥32,229		

本年度から政務調査費の使途マニュアルが新しくなり、これまで以上にその使途基準が厳しくなりました。

この市政レポートは政務調査費により作成されています。